

○「松見の滝」周辺の森林散策（森林ふれあい推進事業）を実施

「ブナ林の散策と松見の滝」と題して一般公募した参加者22名による森林ふれあい推進事業を、十和田市奥瀬字黄瀬山国有林内において10月17日（土）に実施しました。

一般住民の方々に対し、森林散策等の自然に親しむ機会を提供することにより、国有林をより身近に感じていただくとともに、森林の役割やその重要性について理解を深めていただくことを目的として、流域管理アクションプログラム計画に基づき、毎年紅葉の時期に実施しています。

署長の開会の挨拶の後、参加者は3班に分かれ、それぞれ引率の職員に先導され、片道約5kmのブナ林などの広葉樹林の中を、松見の滝目指し出発しました。

当日は、紅葉も最高の見頃を迎え、また快晴にも恵まれたことから、各班の引率の職員とともに、周辺に生息する樹木についての説明や雑談を交えながら、森林散策を楽しみました。

昼頃、松見の滝に到着した参加者はその雄大な姿に感動しつつ、疲れを忘れて各々持参したカメラに収めていました。

雄大な滝を背景に参加者全員で記念撮影を行い、その後、滝の周辺で昼食を済ませ下山を開始。無事出発地点に戻ったところで、参加者からは「楽しい一日を過ごせた」との声も聞かれ、署長のお礼の挨拶の時には、参加者から自然と拍手が沸き起こりました。

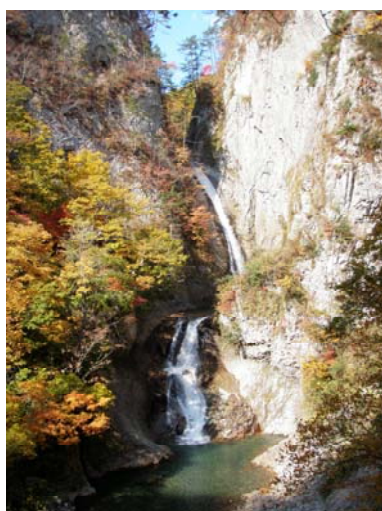
全員ケガもなく無事に本日の日程を終了し、各自帰路に着きました。



出発前の挨拶をする署長



あともう少し！



紅葉も最高の見頃



全員揃って記念撮影